

【特集1】

公務就職への道

「一燈を提げて暗夜を行く 暗夜を憂うことなかれ ただ、一燈を頼め」

【特集2】

世界へ羽ばたく学生たち

地域防災への貢献を通じて成長！

kirari
活躍する
経法生



学生消防隊[SAFETY] 隊長

高山 峻輔さん
法学部 法律学科 3年生
沖縄県立那覇西高校出身

毛呂 環太さん
法学部 法律学科 3年生
大阪府立堺東高校出身

『SAFETY』があつたから
経法大入學を志望した。

『SAFETY』は、2016年7月に
本學と八尾市消防本部との協定によ
り発足した、学生消防隊です。消防官
志望の學生を中心とする約80名で構
成され、自主防災訓練でのボランティア
など、地域防災への貢献に努めてい
ます。そんな隊員たちの奮闘ぶりや
將來への想いについて、毛呂環太さん
と高山峻輔さん二人の隊長にうかが
いました。

毛呂さんも高山さんも、消防官をめ
ざす意志を固めるきっかけとなつたの
は、東日本大震災でした。
「當時は小学6年生。被害の大きさに
ショックを受けたつても、緊急消防援
助隊の活躍に感銘を受け、將來は自分
も人の命を守る仕事をしたと考え
ました。そして高校3年生の時、當時
発足したばかりのこの学生消防隊
『SAFETY』の存在を知り、自分も入
隊して消防の知識や能力を高めた
と考えて、経法大への進學を志望した
ので。」(毛呂)

くには、入隊が絶対条件だと感じまし
た(高山)
現職消防官や市民の方々が
実感として学ばせてくれる。
「八尾市消防本部との合同訓練では
放水など実践的な訓練が受けられ、現
職の消防官から体験に基づいた貴重な
お話もうかがえます。現場での判断に
おいてどんな思慮が必要かなど、実感
として理解できます。」(高山)
「規律訓練では、指一本のずれも許
さない厳しさに驚き、命を守る仕事に
おいて規律がいかに大切かを痛感しま
した。また地域の自主防災訓練などで
は、市民の多くが可搬ポンプを使いこ
なすことに感心します。八尾市の地域
防災意識の高さは全国有数。私たちも
身が引き締まります。」(毛呂)
訓練で実践力を養うだけでなく、消
防官としての意識のあり方についての

理解も深められているようです。

日々重なる貴重な体験が
自らの未來の使命感も育てる。

最後に二人に、めざす消防官像につ
いて、うかがいました。

「地元堺市消防局のフェニックスレ
スキューで活躍したい。一方で、市民の
防災意識を高め、災害に強い地域社会
を築きたいとも考えています。」(毛呂)

「普段から地域の方々へ防災の大切
さについて呼びかけられる、親近感の
ある消防官になりたい。火事や災害が
起こる前に、一人ひとりができる予防
対策がたくさんあることを、学生消防
隊で身をもって学びました。それを根
づかせ、安心して暮らせる地域社会つ
くり貢献したいんです。」(高山)
かつては漠然とした憧れだった、消
防官という未來。学生消防隊での活動
が、隊員たちのより具体的に力強い目
標や使命感を育んでくれています。



1月14日に、大阪府中部広域防災拠点(八尾空港内)で行われた「八尾
市消防出初式」にSAFETYが参加。災害現場さながらの迅速な救助隊訓
練披露などに続き、SAFETYのメンバーも一斉放水に参加しました。

CONTENTS

02 【特集1】
公務就職への道

▶ 巻頭座談会
キャリアセンター
西口 善規 × 石川 英樹 × 江川 充彦

08 クローズアップ経法
CLOSE UP KEIHO

- ▶ 体育会 卓球部
浅津 敦博さん
- ▶ 体育会 ストリートダンス部
河村 一輝さん
- ▶ 学生防犯隊
鶴山 大夢さん
- ▶ 体育会 女子バレーボール部
下田 智美さん
- ▶ 国際学部収容定員増
- ▶ 2019年度春学期クラブ活動戦績

10 【特集2】
世界へ羽ばたく学生たち

▶ 対談
赤城 永里子准教授 × 飯田 千夏さん

12 2019年度大学事業計画・大学予算収支

16 kirari 活躍する経法生
学生消防隊[SAFETY]
高山 峻輔さん／毛呂 環太さん

2019年 7月2日発行

【編集】大阪経済法科大学事務局庶務課
〒581-8511 大阪府八尾市楽音寺6丁目10番地
TEL 072-941-8211 FAX 072-941-4426

<http://www.keiho-u.ac.jp>

キャリアセンター 所長／法学部 教授

西口 善規

YOSHINORI NISHIGUCHI

キャリアセンター 所長補佐／法学部 准教授

石川 英樹

HIDEKI ISHIKAWA

キャリアセンター 課長／硬式野球部 監督

江川 充彦

MITSUHIKO EGAWA

採用試験合格は
ゴールではない。

——大阪経済法科大学における、公務員を志望する学生のキャリア教育に対する基本的な考え方についてお聞かせください。

江川 ○本学では毎年、公務員採用試験合格者を輩出しています。しかし、本学のキャリア教育の一番の目的は、試験の合格ではありません。公務員をめざして本学で学ぼうと考えている学生には、まずこの点をしっかりと理解しておいてもらいたいと思います。

西口 ○公務員の仕事に就き、その仕事に魅力を感じて、その仕事を最後までやり抜くことができる力をつけてもらう。そのためのサポートは、大学時代だけにとどまりません。公務員としての仕事に就いてからも、私たちはいつでもよき応援者として、元気な声を聞かせてもらい、時には

励ますことも。むしろそれが私たちの一番うれしいことで、学生が求めていることだとも考えています。

江川 ○試験に合格しなければ公務員にはなれませんが、もちろんそのための指導も徹底して行います。しかし、試験に合格することがゴールではありません。むしろ合格した後、公務員としての長い人生がスタートします。

西口 ○念願だった警察官になることができ、交番に勤務するようになってから、仕事に難しさや不安を感じて、「先生にアドバイスをもらおう」と電話をする。そんな大学は、あまりないと思いますよ。たいていの相談はさほど深刻ではなく、「先生の声を聞いたら元気になりました」などと返してくれます。そうして卒業生たちの様子が知れるのはうれしいですよ。

石川 ○離職率が高いと言われる大阪府警の警察学校でも、学生からの便りによると、本学出身者の離職率は低いようです。それは自慢です。

西口 ○公務員試験の合格実績の高さに期待し、公務員をめざして本学に入学してくる学生が増えていることも事実です。ただ、学生たち全員に、公務員としての適性や資質があるわけではありません。そこを本人と一緒に考え、確かめていくことも、キャリア教育に携わる者の責任です。たとえ採用試験に合格して公務員になれたとしても、「自分には向いていなかった」と志半ばで辞めてしまふようなことになってはダメですからね。

【特集1】 SPECIAL FEATURE

座談会 西口 善規 × 石川 英樹 × 江川 充彦

公務就職への道

「一燈を提げて暗夜を行く 暗夜を憂うことなかれ ただ、一燈を頼め」

この言葉は、「公に務める者の心構え」などを説いた江戸時代の儒学者、佐藤一斎の教えです。

志を抱き、道標を確かめながら着実に歩めば、不安な暗夜であっても思い悩むことはない、といった意味が込められています。

公務員をめざす学生のみならず、その厳しい道のりを不安に感じることがあるでしょう。強い志という“一燈”を信じて進むみなさんに、

道標を示し、支えとなってくれる教員・職員たちに、公務員への道のりについて語り合ってもらいました。

「国民全体の奉仕者」を
めざす意味を知る。

——では公務員をめざす学生に求められる適性や資質とは、どのようなものなのでしょうか？

西口 ○まず「公（おおよけ）」とは何かについて理解してもらう必要があります。公私の「公」、つまり自分以外のことです。そこに力を尽くすというのは、本来、人間のあるべき姿です。誰だつて自分以外のために頑張った経験はあると思います。ただ、それを優先するというのは、特別なことです。私事を差し置いて、公を仕事にする。そこで得られる結果からは、単純にお金儲けをするのとは違ったやりがいや達成感がありますし、そういうやりがいを理解できる人が、「国民全体の奉仕者」である公務員としての人生を全うできる人なのです。

石川 ○学生たちが公務員を志したきっかけというのは、実に様々です。「ヒーローになリたくて警察官に」、「レスキュー隊に憧れて消防官に」、「市役所職員になって生まれ育った街に貢献したい」といった学生もいれば、「親が公務員だから何となく自分も」「収入が安定しているから」といった学生もいます。最初はどんな理由でもいい。そこから、公務員という仕事への理解を深め、その上で「国民全体の奉仕者」を本気でめざそうと考えられる学生なら、私たちはその気持ちをさらに育て、行



江川 充彦
キャリアセンター 課長
硬式野球部 監督

本学キャリアセンターの職員として16年間、模擬面接や個別相談など、学生たちのキャリアサポートに携わってきた。学生時代に野球に打ち込んできた経験を活かし、硬式野球部の監督という立場からも学生たちを力強く支えている。

外の特修講座）でも行っています。1年次から段階的に取り組み、じっくりと理解が進められるカリキュラム構成を築いています。

―― 体育会系のクラブ活動と採用試験対策との両立をサポートするアスリートキャリアプログラムも導入されていますね。

江川 ○クラブの練習と重ならない時間帯にSコースが受講できるなど、体育会系のクラブ活動に打ち込む学生をサポートするプログラムです。公安系の公務員をめざす学生のなかにはスポーツを通じて仕

個性を育てる キャリア教育

―― キャリアセンターで取り組んでいる、公務員志望学生のためのサポートプログラムなどについてもお聞かせください。

江川 ○キャリアセンターでは今年4月より、八尾駅前キャンパス10階に「公務就職支援室」を新設しました。公務員をめざす学生たちのためのサポート拠点として、模擬面接や個別相談、採用試験情報やセミナー

事に必要な体力を養っている学生も多い。また公務員に限らず、クラブ活動で身につくスケジュール管理能力は社会で評価される大きなポイントにもなっていますので、そうした学生が希望するキャリアの実現をバックアップすることは、責務だと考えています。



西口 善規
キャリアセンター 所長
法学部 教授

奈良県警察で警察署長や刑事部参事官など37年間勤めた後、消防本部等を経て本学へ。県庁への出向勤務等も含めた豊富な職務経験、警察や消防本部で採用面接に携わった経験等を活かし、公務員志望学生のキャリア教育に尽力。

動に移すためのサポートをする。逆に自分がめざしたい将来とは違うと気づいたなら、民間企業での仕事など公務員以外の様々な道に目を向け、本当に進みたいと思える道を探せばいいのです。

江川 ○公務員の職種についても、早い時期に理解を深めてもらう必要があります。警察官や消防官、市役所職員などは、高校生にとっても身近な存在ですし、仕事内容も理解しやすい。でも実際にはもっとたくさん

を組み、学生一人ひとりとじっくり向き合いながら進めています。

実感や説得力が伴う 現場体験に基づく教育。

―― 公務員への理解を深めるための授業が「公務員特別演習」ですね。

江川 ○公務員特別演習では、公務員としての実務経験をもつ教員が多く担当しています。警察官経験をもつ西口教授や石川准教授をはじめ、行政職経験をもつ教員が担当するなど、それぞれの実体験に

C R O S S T A L K

公 務 就 職 へ の 道

一燈を提げて暗夜を行く 暗夜を憂うことなかれ ただ、一燈を頼め

基ついた指導を行うのが、本学の公務員向けキャリア教育の特長のひとつとなっています。

石川 ○公務員としての資質や適性、職種や仕事内容などについては、今年度、私たち担当教員とキャリアセンターとの協働により、リアルセンターとの協働により、リアルセンター制作した「公務就職ナビブック」に詳しく書き記しています。公務員をめざす上で理解しておくべきことについて、より深く掘り下げるために作ったガイドブックで、これを公務員特別演習でもテキストとして使用しています。

西口 ○「求められる人物像」などについても、私たちの実務経験に基づいて制作しています。しかし、文字情報だけでは、本当の意味で理解させるのは難しい。例えば公務員に必要な責任感として、「時間を守る」と書いてある。多くの学生は、当たり前のことだと感じるでしょう。でもこれが現場でどんな意味を持つか、私たちは実感として説明できません。警察官が時間に遅れるということとは、人命にも関わる一大事なのです。現場を体験してきた私たちが教員として指導しているからこそ、言葉に説得力が持てるのですよ。

石川 ○公務員特別演習では、時事問題について考える機会も設けています。先日、吹田市で交番襲撃事件が起きた際に、学生たちはどう考えているか質問すると、一人の学生が手を挙げて「襲われた警察官が助かってほしい」と答えました。私は感激し、「その感性が大切だ。それだけでも君に



石川 英樹
キャリアセンター 所長補佐
法学部 准教授

奈良県警察で調査官・監察官・地域指導室長など36年間勤務。本学では公安職を中心とした公務員志望学生のキャリア教育を担当。若手警察官育成に携わった経験に基づき、公安職としての適性や資質の研究にも取り組んでいる。

リアセンターでは特に一次試験対策、面接対策に力を入れたサポートを展開しています。

西口 ○模擬面接には私たち教員も参加しますが、ハウツー的な「面接のやり方」を教えるような指導はしません。「こう質問されたらこう答えなさい」といった指導が、私たちがめざすキャリア教育においてまったく意味を持たないことは、もう理解してもらえないことだと思います。模擬面接で大切にしているのは、学生が自らを開発していくためのアドバースです。それぞれの個性に応じた



公務員をめざす学生にとって必携の「公務就職ナビブック」には、公務員採用試験の概要や日程なども記載されています。

対応と育成に努め、それぞれが持っている個性を発掘し、伸ばすことを第一としています。

石川 ◎ 同一の考え方からなる組織は、それほど強くありません。ですから警察や消防の採用では、いろいろな考え方や能力、個性を持った学生が求められます。これは強い組織を作るために、必要なことなのです。

西口 ◎ 個性を育てるキャリア教育を推し進めていく上で、キーワードになるのが個別対応。一人ひとりの人物像を見つめ、一人ひとりと向き合いながらの教育が欠かせません。公務員志望学生が増えているので、私たちも大変ですが、少数精鋭での個別対応ができるのは、大学としての規模が大きすぎない本学の強みとも言えます。今の教育体制や教育方針を貫き通したいと考えています。個性豊かな人材育成こそが、私たちのポリシー。試験に合格させるための大学ではないのです。



昨年度の就活実践キャンプには、公務員をめざす学生、民間企業への就職をめざす学生、あわせて281名が参加しました。



就活実践キャンプや公務員試験対策合宿では、個別面接だけでなく、集団面接やグループディスカッションの模擬練習にも取り組みます。

八尾市との連携による 地域防災・防犯活動にも 注力。

—— 学生消防隊『SAFETY』や学生防犯隊も、公務員をめざす学生たちのキャリア形成に「役買っているようですね。

江川 ◎ 本学は八尾市と2016年に、「大規模災害発生時における消防活動拠点に関する覚書」を締結しています。地震や台風、集中豪雨などの大規模災害が発生し、八尾市消防本部の庁舎や車両に被災やそのおそれがある場合、本部機能や消防車両を本学の花岡キャンパス内に移転することを取り決めるものです。こうした地域との連携は、本学の大きな強みの一つと言えます。この八尾市消防本部との協定から学生消防隊『SAFETY』が生まれ、消防官を志望する学生を中心とした学生隊員たちが、自主防災訓練をはじめ、地



力をつけさせることが、私たちのめざすところです。あえて厳しいこの職業を選択する、この「あえて」の部分をしつかりと理解していないと、途中で挫折してしまいます。もっと楽な仕事もあるはずなのに、あえてこの仕事を選んだ崇高な気持ちを大事にして、最後までその気持ちを崩さずに頑張っていくことができれば、必ず誇りに思える人生が送れます。

石川 ◎ この特集のタイトルになっている佐藤一斎の言葉が私は大好きで、「公務就職ナビブック」の冒頭にも、学生へのメッセージとして引用させてもらっています。私自身も苦しい時にこの言葉を思い出し、「一燈を見失うことなく、警察官人生を全うできました。誰かを助けたいという想い、それが一燈。それさえあれば十分だと、学生たちにもいつも話しています。人に手を差し伸べることを考えているだけで君たちは立派だ、褒めたい。」

西口 ◎ 公務員をめざす道のりも厳しいですし、公務員になってからの道のりも厳しい。でも、厳しいというのは「楽しい」と、私は思う。苦しいことの積み重ねの先に、楽しさがあるんです。壁を打ち破ったり、困難を乗り越えたりした時の達成感、それこそが人生の喜びではないでしょうか。厳しい人生の楽しさを、学生のうちに理解してもらいたい。そうすることで、簡単にはつぶれることのない学生を育てることができ

今を力強く生きることが 次代につながるっていく

—— 最後に、公務員をめざす学生たちへのメッセージを一言ずつお願いしたいと思います。

江川 ◎ 変化を恐れない人物になってほしいですね。みなさんがこれから

一燈を提げて暗夜を行く 暗夜を憂うことなかれ ただ、一燈を頼め

公務就職への道

域防災への貢献活動に取り組むことができています。また、学生防犯隊では、八尾市の危機管理課や八尾警察署と連携し、青色防犯パトロールや子どもたちの通学路の見守りなどを実施。警察官や市役所職員を志す学生が、この防犯隊に数多く入隊しています。

西口 ◎ 自分の将来につながることはありますが、学生たちはそれよりも「地域社会のため」という想いを強く持つて活動にあたっている。学生のうちからそうした「公」のための活動に無償で取り組むその姿勢には、感心させられます。

江川 ◎ 女性の社会進出を支援する地域のイベントに、『SAFETY』の女子学生隊員が指名されて招かれるというところもありました。また、公務員特別演習の外部講師として、八尾市役所職員の方に「来学いただく機会も少なくありません。

—— 地域住民の方々とのふれあいから得られることも多いのではないのでしょうか。

江川 ◎ 特に行政職公務員になると、様々な立場の人の対応をしなければいけません。一方にとって優れた政策でも、その一方で反対意見が出ることもあります。みんながみんな、幸せになるというのは、本当に難しいことなのです。ですから公務員をめざす上で、様々な考え方に対応できる、幅広い視点やバランス感覚を養うことは重要になる。地域貢献活動を通じて様々な考え方を持つ市民の方とふれあい、そうし



た素養を育てることができればありがたいですね。

地域連携や地域貢献は、結局、公安職にしろ、行政職にしろ、公務員をめざす学生たちにとって自分の希望進路に必ず関係してくる、非常に大事な活動です。市民に対して、地域に対して、熱い気持ちを抱くことができる人材が、この経法大で公務員をめざす学生から一人でも多く出てくれたらうれしいですね。それを実現させることが、我々の使命でもあります。

「あえて」厳しい この仕事を選ぶ意義。

西口 ◎ 最初にも話しましたが、公務員という仕事を最後までやり遂げる

そらくたくさんの変化が訪れることになるでしょう。苦しいことや、つらいと感じる出来事も、少なくないかもしれません。でもそれを乗り越える力を育てて、どんな変化にも負けることなく、熱い気持ちで突き進んでいってもらいたい。そのために必要な支援を、私たちは決して惜しみません。

石川 ◎ みなさんは今の年齢になるまで、一人で生きてきたわけではないでしょう。いろいろな人の恩恵を受けていると思います。社会に出たら、ぜひ恩返しをしてください。公安職に就いたなら、数多くの人の命を救ってほしい。そして使命を買い

て退職した時には、いろいろな人にいっぱい褒めてもらうといいでしょう。それで「幸せな人生が過「こせた」と実感できると思っています。これは常日頃から、私が授業で学生たちに話していることです。

西口 ◎ 次代を敏感に感じ取れる人間になつてもらいたいですね。そのためにはまず、「今」に神経を研ぎ澄ますことが大切。自分が今生きているということ、そして今何をすべきかを常に感じ取ることが、次の時代を読み解く力につながるのです。あなた自身の将来のため、次代の日本のために、今をしつかり頑張ってください！

キャリアセンターではキャリアコンサルタントの国家資格を有する職員が数多く在籍し、専門的な視点で個別相談などに応じます。





INTERVIEW

「女子バレーボール部」 春季リーグ戦で大きく躍進！ 入替戦にも勝利し昇格を実現。

関西大学バレーボール連盟の2019年度春季リーグ戦において、私たち経法大女子バレーボール部は7部Aブロックで4戦4勝して1位に。7部全体では2位となり、入替戦に進出。そしてこれに勝利し、一つの目標だった6部昇格を果たすことができました。

ろか、部の存続すら危ぶまれていました。そこから部員を増やし、練習を重ね、今のチームを作り上げて、春季リーグ戦でその成果を存分に発揮できたことをとてもうれしく思います。

女子バレーボール部 主将 下田 智美さん

経済学部 経済学科 3年生
兵庫県立伊川谷北高校出身

主将になったのは2年生の秋。部員それぞれの技術やバレーボールに対する想いをふまえ、チーム全体の意識向上に努めています。



【活動日】 毎週火・水・金 16時～19時
【活動場所】 体育館2階 アリーナ

INTERVIEW

「学生防犯隊」 現職の公務員の方々とともに 地域防犯に貢献する活動を展開。

学生防犯隊は、地域社会の防犯に貢献するボランティアサークルです。メンバーの多くは、警察官や市役所職員など公務員をめざす学生。八尾市役所の方々と青色防犯パトロールや通学路での子どもたちの見回りに取り組んだり、八尾警察署が指導する防犯イベントのお手伝いをしたりしています。現職の公

務員とじかに接しながら、自分の将来に直結する体験を重ねています。

学生防犯隊 代表 稲山 大夢さん

法学部 法律学科 4年生
鳥取県 米子北高校出身

代表として心がけているのは、学生防犯隊の認知度アップ。様々な市民イベントへの参加など、活動の幅を広げ、アピールしています。



【活動日】 月4日程度
【活動場所】 基本的に八尾市内で活動

INTERVIEW

「ストリートダンス部」 踊ることが大好きな仲間と 様々な経験や成長を重ねています。

経法大のストリートダンス部は、ヒップホップ、ブレイク、ジャズ、ガールズフリースタイル、クランプという5つのジャンルで活動しています。部員数は39名。互いに競い合うように練習を重ね、みんな日々確実にダンスを上手にできています。

練習の成果を披露できるのは、経法祭やオープンキャンパス、学外のダンスイベントなどでのステージ。全員で最後のポーズを決めたあとに客席から送られる拍手は、格別です。

ストリートダンス部 部長 河村 一輝さん

国際学部 国際学科 3年生
山口県立萩高校出身

部長として部員たちをまとめながらのイベント運営など、貴重な体験ができているのがうれしい。将来はNPO法人で働くのが夢。



【活動日】 毎週火・金 17時～20時
【活動場所】 体育館1階 第7体育室

INTERVIEW

「男子卓球部」 春季関西学生卓球リーグ戦で 1部リーグ3位入賞と大活躍！

2019年度春季関西学生卓球リーグ戦において、私たち経法大の男子卓球部は1部3位入賞という好成績を収めることができました。

関西のトップチーム8大学が名を連ねる1部リーグの闘いは厳しく、これまではリーグ残留という最低限の目標をクリアするだけで精一杯でした。しかし今大会では「優勝」という高い目標を掲

卓球部 主将 浅津 敦博さん

国際学部 国際学科 4年生
島根県 出雲西高校出身

3年生の秋から主将に就任。チーム内での競争心と、仲間同士の団結力、その両方を大切に考えたチームづくりを心がけています。



【活動日】 毎週月～金 15時～20時
毎週土 10時～12時
【活動場所】 体育館1階 第5体育室

▶ 2019年度春学期 | 体育会・文化会クラブの主な活動戦績

クラブ名	大会名	競技成績
男子卓球部	関西学生卓球リーグ戦1部	3位 (3勝4敗)
軟式野球部	西部大学軟式野球リーグ戦1部	3位 (5勝5敗)
硬式野球部	阪神大学野球リーグ戦2部東 阪神大学野球新人戦	6位 (3勝7敗) 1回戦敗退
男子ソフトボール部	関西学生ソフトボールリーグ戦2部	5位 (1勝3敗)
女子ソフトボール部	関西学生ソフトボールリーグ戦3部	4位 (5勝1敗)
男子バレーボール部	関西大学バレーボールリーグ戦3部	6位 (3勝3敗)
女子バレーボール部	関西大学バレーボールリーグ戦7部	2位 (4勝1敗) 6部昇格

クラブ名	大会名	競技成績
バスケットボール部	西日本学生バスケットボール選手権大会	2回戦敗退
サッカー部	関西学生サッカーリーグ戦3部B 関西学生サッカー選手権大会	6位 (2勝3敗2分) 2回戦敗退
バドミントン部	関西学生バドミントンリーグ戦5部B	2位 (4勝1敗)
空手道部	西日本大学空手道選手権大会	団体戦 ベスト8
囲碁部	関西学生囲碁リーグ戦2部	6位 (0勝5敗)
将棋部	関西学生将棋一軍戦B級 関西学生将棋連盟学生名人戦代表決定戦	4位 (3勝2敗) 優勝 松本 幸 (法学部4年)

2020年4月からの、 国際学部の 収容定員増が決定。

2019年7月2日付で、本学国際学部の収容定員増に係る申請が文部科学大臣より認可されました。これにより、2020年4月からの国際学部の収容定員増が正式に決定いたしました。概要は次のとおりです。

	国際学部	4学部合計
入学定員数	140名 ↓ 200名	800名 ↓ 860名
収容定員数	560名 ↓ 800名	3,200名 ↓ 3,440名



留学先での小さな発見が 自らの将来につながった。

赤城◎就職内々定、おめでとうございます。どのような企業から、内々定をいただいたのですか？

飯田◎国際物流・国内物流の両方を手がける運輸会社です。鋼材から食品・雑貨に至るまで様々な荷を扱い、通関業務にも携わっています。私は貿易に興味があり、将来は通関士をめざしているのですが、この会社を志望しました。

赤城◎大学入学当初から、貿易の仕事を目指していたのですか？

飯田◎いいえ。貿易の仕事を意識するようになったきっかけは、とても小さなことでした。2年次にトロントに留学した時、現地のコンビニで、日本のお菓子が売っているのを見つけたのです。「こんな小さなお菓子でも、カナダに合わせて作られて、こうして運ばれてきているんだ」ということに感銘を受けました。それで貿易に興味を持つようになり、帰国後、貿易の授業を選択履修して実際に学んでみると、とても面白く感じられて…。それが就活の軸になりました。

赤城◎学生たちには小さなことに疑問を感じたり心を留めたりするような目を持ってほしいと、常日頃から考えています。そういうところに自分の興味や関心を引き起こすきっかけがあるんですよ。ただ、それを授業などで伝えるのは難しいとも感じていました。ですから、飯田

さんから今のようなお話を聞いたことは、とてもうれしいですね。

世界と向き合う上での 自分の考えが持てるように。

飯田◎入学時は、留学にそれほど興味を感じていなかったんです。でも1年生の時にマレーシアに行き、日本との環境の違いに驚きました。マレーシアはイスラム文化圏の国。女性が肌の露出を避けることや、豚肉を食べないことなど、私はイスラム教の文化についてその時に初めて知ったのです。帰国後はそうした文化の違いに興味を沸き、イスラム文化圏からの留学生に積極的に話しかけて教えてもらうなど、今あるこの環境で学べることをどんどん学ばよう心がけました。

赤城◎2年次に留学したトロントでも、さまざまな文化を持つ人たちに出会い、大きな驚きや発見が得られたのではないのでしょうか？

飯田◎そうですね。トロントは移民が多い街と聞いていましたが、想像以上でした。ホストファミリーはフィリピン系カナダ人。街には中国、南米、中東など、世界各地からの移民が生活している。それぞれ文化や背景の違う人たちが当たり前のように街になじんでいることに驚きました。異文化と接する機会が少ない日本では、つい外国人に偏見を持ってしまったり、外国人を一括りで捉えてしまう人が、少なくありません。私はトロントでの学びと生

特集2

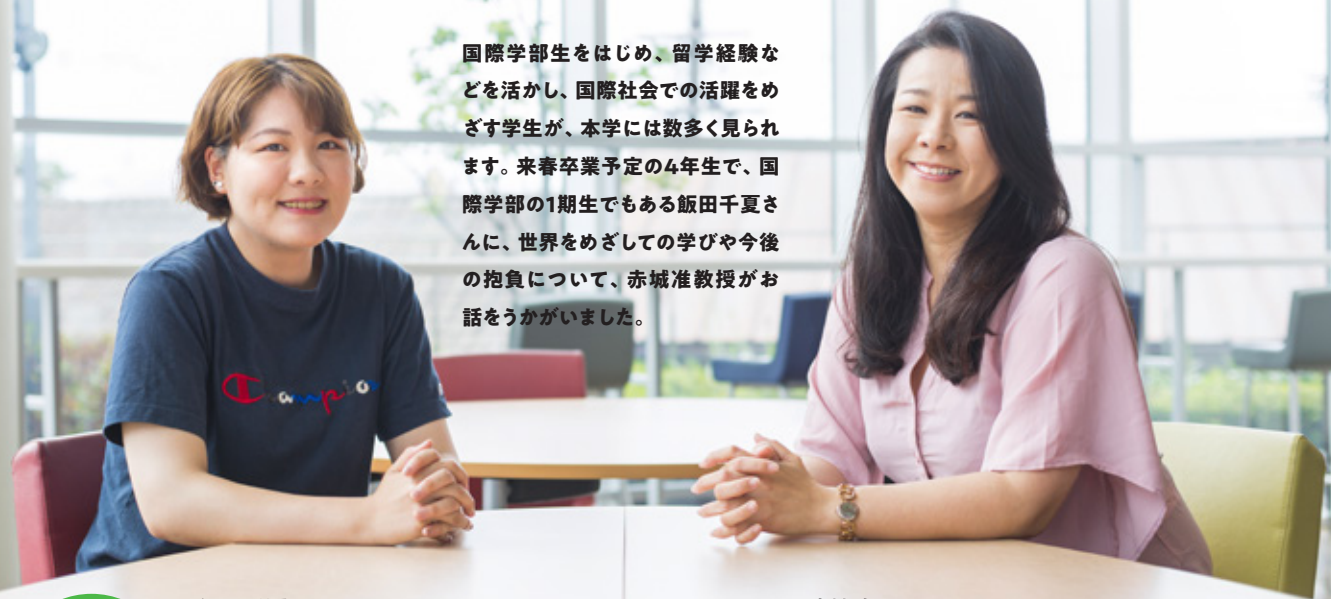
SPECIAL FEATURE

FACULTY OF INTERNATIONAL STUDIES | CROSS TALK | PROFESSOR & STUDENT

世界へ羽ばたく学生たち

目指す舞台は世界。グローバル社会で輝くために。

国際学部生をはじめ、留学経験などを活かし、国際社会での活躍をめざす学生が、本学には数多く見られます。来春卒業予定の4年生で、国際学部の1期生でもある飯田千夏さんに、世界をめざしての学びや今後の抱負について、赤城准教授がお話をうかがいました。



国際学部 1期生

飯田 千夏 さん
国際学部 国際学科 4年生
大阪府 金蘭会高校出身

高校で英語の成績が良く、高校の英語の先生にすすめられ、本学の国際学部に入學。1年次のフィールド・プロジェクトでマレーシアへ、2年次には英語圏1セメスター留学でカナダのトロント大学へ。卒業後の就職先として、藤原運輸株式会社から内々定をいただいています。

赤城 永里子 准教授
[博士(言語文化学)]
専門分野 / 日本語教育学、仕事のための日本語

日本語教育のなかでも、仕事のために日本語を学習する学習者の学習内容を決定するための方法の研究が専門領域。本学では留学生が日本語を学ぶ授業や、国際学部新入生のための「基礎演習」などを担当。



活を通じて、「それは違う」と反論できる反射神経も身についたと思います。知識がないから、偏見を持ってしまうんです。表面だけを見るのではなく、相手の国のことや文化を深く知れば、見方も変わります。

赤城◎留学体験に加え、飯田さんはゼミで国際人権法を学ぶなど、国際学部の授業で多くの専門知識も身につけ、世界の人々と向き合う上での軸となるような自分の考えが持てるようになったのだと思います。そうした知識と経験に基づいたその考えを、これからも大切にしてください。

世界の人々と働く上で 大切なことは。

飯田◎内定先企業は、海外展開にまだそれほど積極的ではありません。これからこの時代、日本だけでやっていくのは厳しいですし、将来的に

は私が率先して海外戦略を進めたというのが目標です。

赤城◎海外拠点で現地の人たちを採用して一緒に働く、ということになれば、これまで飯田さんが体験してきた以上の相互理解が求められます。仕事に対する責任感や、時間の感覚などにも、違いを感じるようになるでしょうから。乗り越える自信はありますか？

飯田◎気持ちの上ではやれると思いますが、仕事能力や英語力が伴わないと難しいですね。英語の勉強を、もっと頑張ります！

赤城◎飯田さんが身につけた世界の人々と向き合う姿勢は、文化も仕事に対する価値観も異なる人たちと働く上でも、すごく大きな意味を持っています。相手を知り、かつ自分の立場を知ってもらうことが重要で、さらにそれをきちんと伝えるため、聞くためのコミュニケーション能力が必要。英語の勉強は大学を卒業するまでというのではなく、社会に出てからも高め続けてほしいですね。

「自分で動く」ことで 道は拓かれる。

飯田◎最初は留学にもそれほど意欲的でなかった私ですが、めざしたい仕事が見つかり、有意義な4年間を過ごせたと思います。友だちも観光業や大学院進学など、それぞれ進みたい道に進むことが決まり、この大学で一緒に学べて良かったと話しています。



2019年度

大学事業計画・大学予算収支

2019年度大学予算及び事業計画が3月25日理事会において承認可決されました。ここに、その概要を公表いたします。

本学は高等教育機関に課せられた社会的使命を果たすため、各学部・研究科の養成する人材像の実現に向け、事業計画を着実に実行してまいります。

本学の教育研究活動に、引き続き、ご理解を頂きますようお願い致します。

1 国際学部収容定員増

○2020年度からの国際学部収容定員増に向けた準備を着実に進めます。

2 学生募集

○2020年度からの国際学部新定員を周知し、各学部及び大学院経済学研究科における教育特色を訴求するための広報を充実させます。

3 経済学部

○2021年度からの新コース制開始に向けて、特色ある経済学部の専門教育について検討し、授業内容・教育技法の組織的改革に取り組めます。

○「実学としての経済学」教育を展開するための教材を開発し、3年次の演習を中心に実践的教育を展開します。

○高付加価値教育を一層推進するため、3年次以降の演習を中心とする教育を充実させ、学生研究発表大会の質の保証を図ります。

○4年次の卒業論文又は卒業レポートの質向上に向けて、指導を強化します。

4 経営学部

○開設初年度にあたり、養成する人材像の実現に向け、設置趣旨に基づき、経営学教育の基幹をなす経営学分野（商学分野、会計学分野）において付加価値の高い教育を実践します。

○教育の質保証に向け、授業

内容と教育技法の改善を進めます。

○2年次以降の専門演習の開始を見据え、1年次専門基礎教育を着実に展開します。

○経済学部経営学科生の教育及び進路就職について、経済学部と連携を図りながら、十全に対応します。

5 法学部

○2019年度より展開する3コース12モデルの新コース制による教育課程の下、各年次の教育目標の達成に向けて、授業の質を高め、教育力の向上を図ります。

○公安職及び行政職公務員の輩出に向け、それぞれに応じた個別指導を充実させ、教育技法の開発に引き続き努めます。

○法科大学院及び法律専門資格合格実績の向上に向け、正課授業の充実と個別指導の強化を図り、学生ニーズに対応したSコース講座（難関国家試験を目指す学生のために正課外で行われる特修講座）を実施します。

○「宅地建物取引士」の資格取得

に向け、正課授業を改善し、正課外の資格講座との連携を強化します。

6 国際学部

○完成年度を迎え、確かな専門知識と国際通用性の高い英語運用能力を備えて、文化的背景の異なる人々と協働できる人材の輩出に向け、教育力向上のための組織的な取り組みを強化します。

○国際体験や英語学修を基礎として、専門知識を適用できる能力を学生に修得させるため、専門教育と卒業研究を充実させます。

○国際学部における英語教育を着実に実施し、留学・海外体験と組み合わせ、国際通用性の高い英語運用能力の向上を図ります。

○留学生が専門知識に加えて、日本語と母語及び英語を使えるマルチリンガルとしての強みを発揮できるよう、国際学部における教育を充実させます。

7 教養部

○各学部学科の「学位授与の方針」・「教育課程の編成実施の方

針」を支える、共通・教養教育の特色化に取り組みます。

○人文分野では、読書する学生の育成に向けた読書推進活動を正課授業において進め、数理情報分野では、実践的・実用的な情報教育の充実・高度化に努めます。

8 大学院経済学研究科

○高度の専門的職業人の養成をめざして、教育研究指導を充実させ、修士論文の質向上を図ります。

9 就業力の育成・キャリア支援

○学生の希望進路の実現に向け、最適なキャリア支援体制の整備を図り、多様化する学生の志望に適切に対応したキャリア支援プログラムを充実させます。

○学部特性を反映した就職実績の実現に向け、キャリア教育と就職指導を展開します。

○就活実践キャンプにおいて、学部学科特性を反映したプログラムを展開します。

○外国人留学生の出身国・地域等の属性の多様化に適切に対応しながら、希望進路を早期に把握し、キャリア教育と就職指導を強化します。

10 資格取得支援の強化、公務員志望学生支援

○各学部学科の「学位授与の方針」・「教育課程の編成・実施の方

針」に基づいた学部推奨資格を通して、学生の知識・技能の修得を支援すること、学士課程教育とキャリア形成の充実を図ります。

○Sコース及び資格講座の受講者数・受験者数・合格者数の増加に資するよう、案内・申込・実施体制を改善します。

○「公務就職支援室」を整備し、学生の希望進路（公安職・行政職）に応じた個別支援体制を強化します。

11 国際教育・交流

○新たに設置された国際教育交流センターを中心に、国際展開力を強化し、学部特性を踏まえ、学生の個性と希望進路に即した国際教育を通じて、グローバル人材及び高度外国人材を養成します。

○国内外の情勢を踏まえた適切な危機管理を行い、安全で確実な学生の海外派遣の実現に努めます。

12 教育の質保証と学修支援

○4学部2キャンパスにおける効果的かつ学生本位の教育課程を編成・実施し、教育制度の改善を進め、教育の質保証に取り組めます。

○学生の学修成果などの情報を収集・分析する活動の機能高めるとともに、法令等に基づき教育情報の公表を行います。

○4学部における在学生への学修指導を適切に行えるよう、適正な学籍管理・成績管理を行います。

○授業内容・方法の改善のための活動に注力し、教育効果の検証に基づく個々の授業の充実・改善を図ります。

○学生一人ひとりが成長を実感し、高い満足度で学士課程教育を修了して希望進路を実現できるよう、学生の特性に応じた学修支援を組織的に強化します。

13 学生生活の支援と課外活動の活性化

○豊かな人間性を涵養し、自主的活動を通じた学生の成長と人格形成を支援することができるよう、学生一人ひとりが心身ともに健康で、安全・安心に過ごせる学生生活を支援します。

○クラブ・サークルへの加入を勧奨し、指導内容を充実させ、部活動の安全確保と学修支援に取り組めます。

14 教育・研究・校務展開のための学術情報基盤の整備

○教育・研究・校務展開のための学術情報基盤の整備に向けて、教育の情報化、大学の情報化、情報教育の高度化に取り組めます。

15 地域連携・社会協働

○産業界・地域社会のニーズに対応し、大阪に確固とした基盤を持

つ大学として、地域連携・社会協働事業を進めます。

16 施設設備の整備・利用

○在学生並びに志願者等が期待と信頼を寄せる、美観性・快適性等の向上に向けて、2キャンパスの整備及び施設管理を行います。

17 研究活動

○本学の国際的な学術ネットワークを活用する等、社会の要請に応えた学術研究を継続的に進めます。

○科学研究費補助金をはじめとする競争的資金の獲得に向け研究活動を活性化させます。

18 教職員の業務遂行能力の向上

○業務の継続性と発展を展望するべく、教員・職員の技量を高め、教員・職員に必要な校務展開力を強化し、業務遂行能力の向上を図ります。

19 「大学等への学修支援制度」への対応

○「大学等への学修支援制度」の対象大学に求められる要件を整備の上、文部科学省への確認申請に万全を期します。

○支援対象大学として確認を受けた後は、支援対象者の申込から認定に至る手続を円滑に進めます。

2019年度 大学予算書 2019年4月1日から2020年3月31日

(単位:千円)

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	3,459,898
授業料収入	3,256,628
入学金収入	198,000
その他納付金収入	5,270
手数料収入	52,230
入学検定料収入	49,650
試験料収入	80
証明手数料収入	2,500
補助金収入	70,000
大学整備充実資金運用収入	2,800
雑収入	7,637
収入の部合計	3,592,565

支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	1,668,621
教員人件費支出	966,972
職員人件費支出	654,608
退職給与引当特定資産繰入支出額	47,041
教育研究経費支出	955,037
報酬委託手数料支出	268,334
奨学費支出	236,270
光熱水費支出	68,060
その他教育研究経費支出	382,373
管理経費支出	341,657
報酬委託手数料支出	55,702
印刷製本費支出	51,408
旅費交通費支出	10,460
その他管理経費支出	224,087
建物等減価償却引当特定資産繰入支出額	503,299
建物等修繕引当特定資産繰入支出額	100,000
その他の支出	23,951
支出の部合計	3,592,565

※この2019年度大学予算は、本学が予算管理目的のために設定している「大学の予算」の収支を勘定科目別に表示したものです。

■ 大学整備充実資金 (2019年度期首残高)

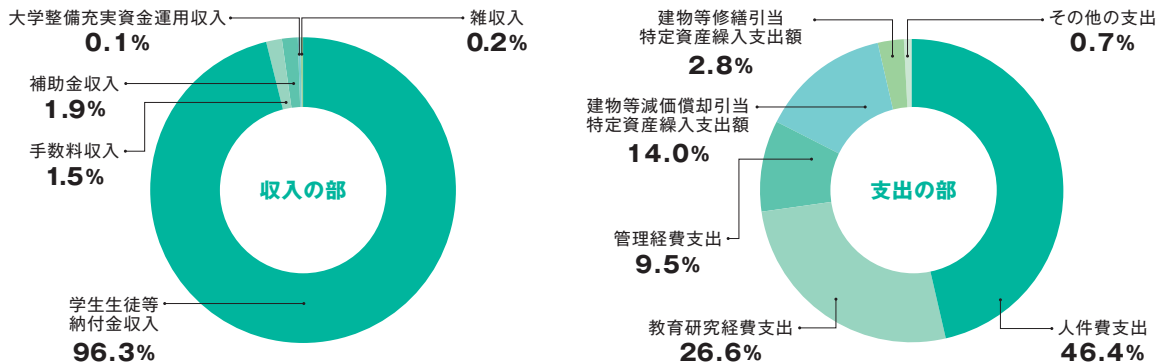
(単位:千円)

建物等減価償却引当特定資産 ^{※1}	6,405,203
建物等修繕引当特定資産 ^{※2}	217,320
退職給与引当特定資産 ^{※3}	492,427
合計	7,114,950

大学整備充実資金の内容は次のとおりです

- ※1) 建物及び構築物の減価償却分を積立て、建物等の建替えや施設等の充実に活用する特定資産
※2) 長期修繕計画に基づき、修繕費を積立てている特定資産
※3) 教職員の退職金の支給のために積立てている特定資産

収支構成図



2019年度
大学予算収支
概要

収入について

2019年度の収入の概要は、以下のとおりです。
(金額は全て概算額です。)

①「学生生徒等納付金収入」
34億6千万円

新入生、在学生から納めていただく入学金、授業料、実習費等の学費です。本学における、主要な財源となっています。

②「手数料収入」
5千万円

入試の検定料や成績証明書

など、各種証明書の発行手数料及び、大学入試センター試験実施手数料です。

③「補助金収入」
7千万円

私立大学等経常費補助金で2018年度交付額を基準として計上しています。

④「大学整備充実資金運用収入」、「雑収入」
1千万円

「大学整備充実資金運用収入」は、大学整備充実資金の運用利息収入です。安全性と効率性を勘案し預金や国債で運用しています。

「雑収入」は、科学研究費補助金(文部科学省による研究費助成の間接経費、その他の収入です。

支出について

2019年度の支出の概要は、以下のとおりです。

①「人件費支出」
16億7千万円

専任教職員や非常勤講師、嘱託職員・契約職員等に支払われる給与、手当及び退職給与引当特定資産繰入支出額などです。

②「教育研究経費支出」
9億6千万円

教育、研究に直接要する経費であり、前項の事業計画に沿って編成しています。今年度において主な内容は、①各種奨学金事業に2億4千万円、②就業力の育成・キャリア支援の充実事業に5千万円、③特修講座や資格講座等の開講事業に5千万円、④学術情報基盤の整備事業に5千万円、⑤学生生活の支援と課外活動の活性化事業に4千万円、⑥国際教育・国際化事業に4千万円、等となっています。

③「管理経費支出」
3億4千万円

教育研究活動を支える大学管理運営上の経費や、学生募集経費などです。

④「建物等減価償却引当特定資産繰入支出額」、「建物等修繕引当特定資産繰入支出額」
6億円

それぞれの特定資産の設定趣旨に基づいて、毎年度所定の金額を繰り入れます。

⑤「その他の支出」
2千万円

教育研究用の機器備品・図書などの購入費です。

